

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

近畿農政局「消費者の部屋」(京都農林水産総合庁舎1階)にて

「グループ対抗 里山デジカメ選手権」入選作品展示中(1月4日(金)～1月31日(木))

先生を目指す大学生が植物観察や間伐などを体験!

～京都森林インストラクター会と連携実施～

11月5日(月)に安祥寺山国有林(京都市)、11月28日(水)に京都女子大学キャンパスにおいて、約50名を対象として森林体験活動を行いました。

この取組は、間伐、丸太切り、木工品作りなどの体験活動を通じて、森林の有する多面的機能の重要性や森林整備の必要性等を学んでもらうことを目的に、平成16年度から教職課程の大学生を対象に実施しています。

野外体験では、今回は京都森林インストラクター会に御協力いただき、「森林を五感で感じる」をテーマに植物観察や林業体験、紙芝居などを行いました。

また、キャンパスでは間伐材を使った木工品作りやツルを使ったリース作りを通じて、森林の恵みを再認識してもらいました。

学生からは、「森林とこんな風に関わることができるということを知った」、「身近に木があることの素晴らしさを再認識した。先生になったら子ども達に伝えたい」などの感想が聞かれました。



有識者から、センターの活動に意見や提案!

～当センター運営推進懇談会を開催～

12月14日(金)、当センターの効率的な運営を推進するため、NPO法人地球緑化センターの金井氏、毎日新聞社の前田氏、京都教育大学の山下教授の3名の有識者を委員として、今年度第1回懇談会を開催しました。

委員からは、各活動の普及について、「ふれあいセンターなどが行っている地域に根ざした活動をもっと多くの人に伝えることが必要」、「効果的なプレスリリースの方法を工夫することが必要」、今年度作成中の森林環境教育プログラムについては、「社会人向けと言うより学生向けという感じ。教員免許の更新の際活用できると思う」、森林ボランティア養成スクールについては、「森との繋がりの中で暮らしている人の話や地域の現状、例えばシカやカワウの被害の話も入れてはどうか」などの意見や提案がありました。これらの貴重な意見等を今後のセンターの活動に反映させていきたいと考えています。



大学生にセンターの活動状況を説明!

～インターネットを利用してテレビ講義～

12月15日(土)、甲南大学(兵庫県)の学生20名を対象として、当センターが取り組んできた、里山再生推進モデル事業、カワウ被害対策、森林環境教育プログラム作成、里山デジカメ選手権、森林ボランティア養成スクールなどについて、本田所長がインターネットを利用して講義を行いました。

学生から、「森林環境教育体験ワークショップや森林環境教育セミナーを実施した際の先生の反応や感想」、「間伐材利用推進のための具体的な取組」について質問があるなど、森林になじみの薄い学生達に森林・林業や森林環境教育の重要性について理解を深めていただいたものと考えています。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

